



サンガ、ハンナリーズ、女子野球など西京極に

# プロ選手とふれ合い

○ 来春、わがままスター、ジアム京都などを拠点に開幕する女子プロ野球リーグの選手が初めて市民の前にお見え。来場者との記念撮影に応じたトケンショウでは、京都市出身の小西美加選手ら選手が「手本になるプレーをしたい」「女子野球を増やしたい」と話していました。

○ 6月に京都市体協に加盟したばかりの市3B体操協会はPRブースを設け、ボールなどを使って気軽にできる健康体操の良さを訴えました。会員たちは、12月12日に大山崎町体育館で実施するイベント

来春開幕へ初お目見え



女子プロ野球の選手と記念撮影する子どもたち



○ 京のプロチームの選手も登場し、市民と一緒に交流しました。京都サンガは手島和希、渡辺大剛の両選手が、地球に優しい運転をする「京工コドライバーズ宣言」への参加を呼びかけました。サンガは地球温暖化防止を訴える京都市の「DO YOU OTTO?」大使に任命されています。渡辺選手は「エコドライブは個人的にも意識している。プロ選手として京都のためにもっと役立ちたい」と意気込んでいました。ハンドボールは、チアダンサー14人がステージで華麗なダンスを見せ、会場を盛り上げました。



○ 6月に京都市体協に加盟したばかりの市3B体操協会はPRブースを設け、ボールなどを使って気軽にできる健康体操の良さを訴えました。会員たちは、「P.R.になつた」と喜んでいました。

## みんなのスポーツフェスタに2万5000人

スポーツの秋を彩る「第6回みんなのスポーツフェスタ」が11月28日、京都市右京区の西京極総合運動公園で行われました。

「見る、支える」というたスポーツのさまざまな楽しみを満喫しました。

フェスタは毎秋、京都市体育協会の主催で開かれています。弓道やペタンクなど市体協に加盟する競技団体が体験ブースを

設けたほか、日本女子ソフトボールリーグの佐川急便、日立マクセルの選手らが小学生の指導にあたりました。来春開幕す

る女子プロ野球リーグのプロ選手たちも参加し、盛んにPRしました。サッカーJ1の京都サンガF.C.、バスケットボールbjリーグの京都ハンナリーズの公式戦も同運動公園内で行われ、京のスポーツの聖地には熱く盛り上りました。

(国貞仁志)

チア華やかに

平成20年11月20日(木)

京都新聞 朝刊

### 朝原の教室など

### スポーツフェス開催

22日、右京で

京都市体育協会は22

日、スポーツ体験や健康情報コーナーなど多彩な

イベントがそろう「みんなのスポーツフェスティ

を京都市右京区の西京極総合運動公園で開催する。北足五輪の陸上男子四百走リレー銅メダルの朝原宣治さん(大阪ガス)の陸上教室をはじめ、弓道やアーチェリーの体験コーナーなどが無料で楽しめる。今年で5回目の

開催。午前10時の開会セレモニーを皮切りに、午後3時まで同公園内の陸上競技場、球場、体育館など全施設で催される。

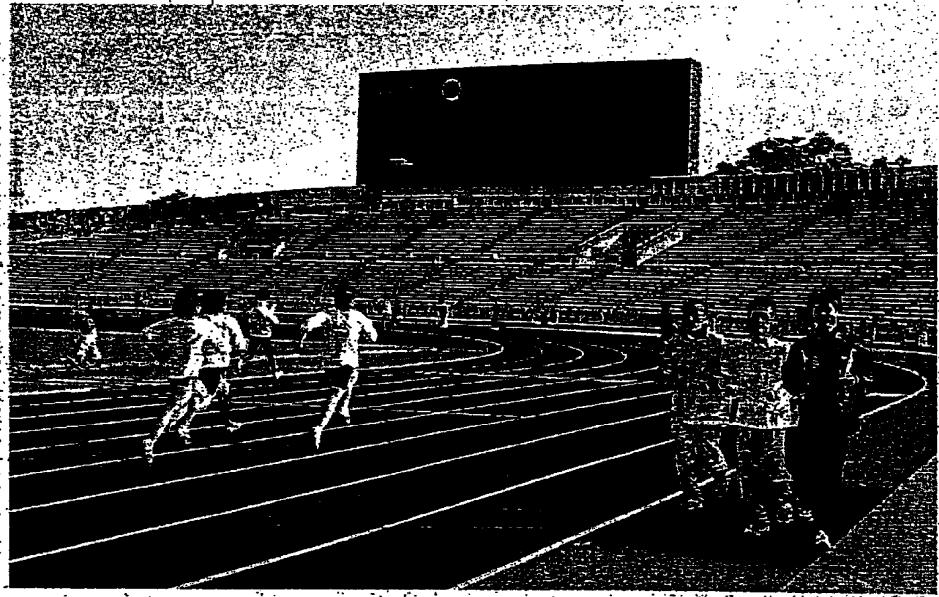
問い合わせは京都市体協 8075(315)4501へ。

ハンナリーズの紹介ブースも。体力測定、心肺蘇生法体験、骨密度測定などもあり、無料で楽しめる。

また京都サンガFCのサッカー教室、プロバスケットボールbjリーグに来季から出場する京都スモーリングスの紹介ブースも。体力測定、心肺蘇生法体験、骨密度測定などもあり、無料で楽しめる。

チ(日立ソフトウエア、京都明徳高出)らがコチ役として参加する。当日は見学が可能。

には北京五輪金メダルの江本奈穂投手(豊田自動織機、京都西山高出)、田本博子・日本代表コ



練習用に一般開放が始まった西京極陸上競技場で練習する  
高校生ら(京都市右京区)

## 陸上競技場、市体協が運営改善

京都市が四月から右京区の西京極陸上競技場をサブトラックに指定管理者制度を導入して以降、利用者が急増している。管理者がなった市体協が加盟団体の市陸上競技協会と連携し、選手らと身近な立場から運営方法を見直して利用しやすくなつたと好評だ。メリン競技場の練習用の一般開放も一九八五年の改修後、初めて実施した。アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みつき選手(シスメックス)らトップ選手もよく訪れるようになつた。

指定管理者制度は民間組織も公共施設の管理に参入できる制度。

# 身近な西京極 利用倍増

## 野口、朝原選手も練習開放

週二、二度のサブトラックの整備日や大会開催日には、大会専用だったメイン競技場をかわって開放した。その結果、四月の利用者は延べ千百六十人と昨年(約五百人)の二倍以上に増え、五月も四月を上回る(五千人)にぎわいをみせている。競技場には市陸協のスタッフが常駐するようになり、競技器貸出しも可能になった。京都陸協の青木克之理事長は「以前から開放を求める市民の声は強かつた。今後も改善を重ね、陸上に親しみやすい環境づくりを工夫したい」と話す。

これまで西京極を利用できなかつた。久御山町のグラウンドによく出かけた野口選手は、「西京極のメイン競技場でも半面だけの利用も可能になつて以降、一時間單

ラシスマックス女子陸上部も連日のように西京極を利

用するようになった。藤田信之監督は「長く京都にいた。その結果、西京極のメイン競技場で練習できたのは初めて。ずっと近くで違う、使いにく

い場所だった。手軽に使えるようになり本当にありがたい」と喜ぶ。

野口選手以外にも男子百

り、競技器貸出しも可

能になった。京都陸協の青木克之理事長は「以前から

開放を求める市民の声は強

く練習しており、中高生た

ちは「西京極で練習するだ

けで、最高の勉強になる」と喜ぶ。

左京区の宝が池球場も

者になつて以降、一時間單

位で半面だけの利用も可能

なつた。久御山町のグラウ

ンドによく出かけた野口選手

は「西京極で練習するだ

けで、最高の勉強になる」と喜ぶ。

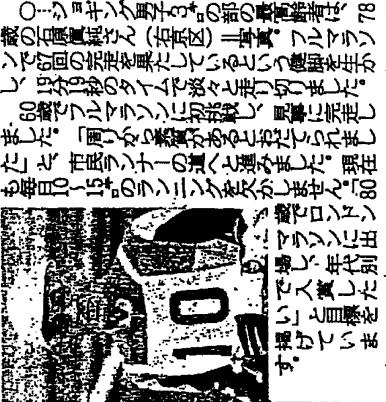
# 運動会超え6500人 世代躍進

京都市民スポーツフェスティバル

京都市と同市体育協会主催されました。小学生からお年寄りまで多くの市民が参加し、大会は行政を挙げて運営されました。開催場所は6500人分の会場で、各年齢層に応じた各種競技が実施されました。特に高齢者層では、身体機能を最大限に活用するための競技が盛んに行われました。



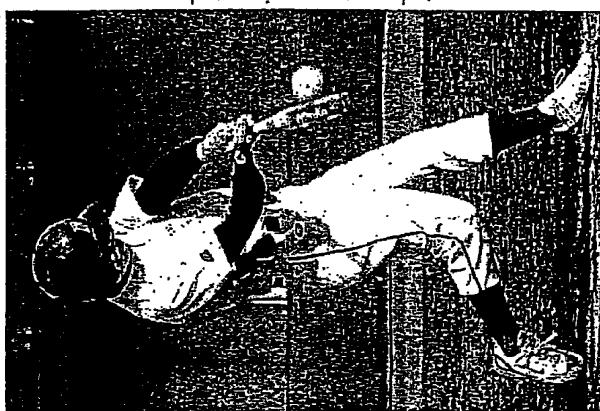
## 78歳、健脚セツコ



○シヨキン男子54歳の部優勝者は78歳の石原直哉さん(右京区)。東京フルマラソンで60歳でフルマラソンに初挑戦し、見事に完走しました。「風が吹くと走れる」と喜んでいました。毎月10~15kmのランニングを欠かせません。現在マラソンに挑戦してロンドン80歳出場を目指すと自負を述べています。

## エース盛り上げ初優勝

○ソフトボール生来勝は横浜市西区が6回戻しで奈良(山科区)に勝ち残り初優勝しました。勝利投手は6回を投げて相手打線を6回で抑えた成田と野口。6回裏の2回目には、成田が地元のリーグ戦で切磋琢磨させつた大谷と相手打線を6回で抑えた。成田は「今日は本当にいい投げられました。」と喜んでいました。



ソフトボール生来勝 横浜大谷 総合1位

平成21年9月16日(水)  
京都新聞 夕刊



## 勝利へアタック

### 京都市バレーボール祭 95チーム交流

第45回京都市バレーボール祭が6日、横大路グラウンドで行われ、全市から約900人の女子選手が参加しました。

第21回市民スポーツエスティバルの一環で、京都市と市体育振興会連合会が主催。単位振興会連合会から推薦された95チームが出場しました。選手は学生を除く社会人で、19歳から69歳まで幅広い女性が参加しました。

青空の下で元気いっぱいのプレーを展開しました。

9人制の長所もとり入れた6人制の市民ルールで行われ、試合中は30歳以上の選手が4人以上出場しなければなりません。各チームは2試合ずつを行い、2勝した29チームが優秀チームとなりました。

【優秀チーム】大宮、待

鳳、格野(以上北区)、室

町(上京区)、松ヶ崎(左

京区)、本能(中京区)、

月輪、今熊野(以上東山

区)、山階、大塚(以

上山科区)、有隣(下京区)

太秦、梅津、広沢B、山ノ

内(以上右京区)、桂、桂

東B、川岡A、川岡東、

松陽、桂坂、境谷、竹の里

(以上西京区)、砂川、下

鳥羽、久我、羽束師A、

羽束師B、久我の杜(以上

伏見区)